



厚生労働省

下関労働基準監督署からのお知らせ

令和6年7月

業種別労働災害発生状況

○令和6年6月末現在

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)

下関労働基準監督署
令和6年6月末現在

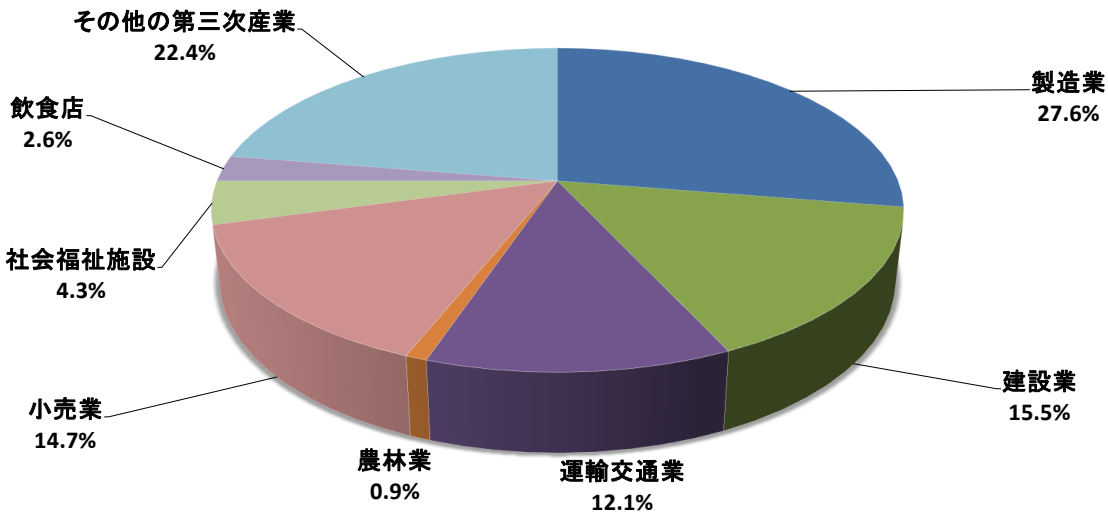
新型コロナウイルス感染症り
患による労働災害を除く。

業種	死亡 (前年同期値)	休業災害	合計	構成比※	対前年 増減数	増減率	うち転倒災害件数				
							死亡	休業災害	合計	構成比※	占有率
全産業	0 (1)	116	116	100.0%	+3	+2.7%		30	30	100.0%	25.9%
製造業		32	32	27.6%	-2	-5.9%		6	6	20.0%	18.8%
鉱業					±0	-					-
建設業		18	18	15.5%	+10	+125.0%					
運輸交通業		14	14	12.1%	-2	-12.5%		4	4	13.3%	28.6%
貨物取扱業					-1	-100.0%					-
農林業		1	1	0.9%	-2	-66.7%					
畜産・水産業					±0	-					-
第三次産業	(1)	51	51	44.0%	±0	±0.0%		20	20	66.7%	39.2%
小売業		17	17	14.7%	+5	+41.7%		5	5	16.7%	29.4%
社会福祉施設	(1)	5	5	4.3%	-7	-58.3%		4	4	13.3%	80.0%
飲食店		3	3	2.6%	-3	-50.0%		1	1	3.3%	33.3%
その他の第三次産業		26	26	22.4%	+5	+23.8%		10	10	33.3%	38.5%

※端数処理上、合計値が100%にならないことがある。

労働者死傷病報告による

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)



下関労働基準監督署管内において、令和6年6月末までに発生した労働災害は116人で、前年同期と比較して死亡災害は発生していませんが、3人増加しました。

製造業は、32人と前年同期と比較して2人減少しました。最も多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の10人で、前年同期と比較して1人増加しました。続いて多い事故の型は「転倒」の6人で、前年同期と比較して3人増加しました。

建設業は、18人と前年同期と比較して10人増加しました。最も多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の7人で、前年同期と比較して6人増加しました。続いて多い事故の型は「墜落・転落」の5人で、前年同期と比較して3人増加しました。

小売業は17人と前年同期と比較して5人増加しました。最も多い事故の型は、「転倒」の5人で、前年同期と比較して2人増加しました。続いて多い事故の型は「交通事故」の3人で、前年同期と比較して2人増加しました。

全業種で最も多い事故の型は「転倒」の30人で、前年同期より9人増加しました。